

2025年度三重大学「学生海外チャレンジ応援事業」報告書

計画タイトル※申請書と同じタイトルを記載すること	採択コース
植物栽培の効率化についてタマサート大学で学ぶ	Aコース

学生情報	
氏名	寺尾 美良
所属学部・研究科	生物資源学部
学年(出発時)	4年

渡航先情報	
渡航先	タイ・バンコク
渡航先滞在期間	9月1日～9月12日
訪問先機関等	タマサート大学
訪問先機関での身分	学生

渡航概要と内容

- ① 植物栽培の最適化の研究を行うこと
 タマサート大学では、Ornprapa Thepsilvisut准教授の研究室に受け入れていただき、現地の学生との共同作業を通して、実践的な技術とともに、研究に対する姿勢や思考方法を学びます。植物栽培の効率化の研究はもちろん、「Golden Jubilee Museum of Agriculture」や「National Science Museum」のような実践的に植物や化学について学ぶ場にも訪れます。11日間を通して座学だけではなく、ここでしか学べないことを主に身に着つけます。
- ② 固定概念に囚われない思考力を得る
 異文化の中で生活し、自分の価値観を広げるため、滞在中は現地の大学生と生活します。現地の学校での交流を行うことで、日常の中にある文化や考え方の違いを肌で感じ取りたいと思っています。またタイの文化を学ぶためアユタヤ遺跡を訪れ、その歴史的背景を学ぶことで、異文化理解をより深めたいと考えています。異文化を学ぶことは他者理解の向上にもつながり、結果として自己理解も深まると考えています。こうした経験を通じて、既存の考えにとらわれず、多角的な視点で物事を考えられる力を養いたいと考えています。

渡航により達成できたこと

- ① 植物栽培の最適化の研究
 タマサート大学では、Ornprapa Thepsilvisut准教授の研究室に受け入れていただきました。現地の学生との共同作業を通して、実践的な技術とともに、研究に対する姿勢や思考方法も学ぶことができました。特に「Golden Jubilee Museum of Agriculture」というタイの農業博物館へ実際に見学させてもらうことで座学だけでは得られない実践的な学びを得ることができました。
- ② 固定概念に囚われない思考力
 自分の価値観を広げるため、現地の学生とともに生活しました。生活を通していろいろな価値観を共有することができました。現地での暮らしを体験することで、日常の中にある文化や考え方の違いを肌で感じ取ることができました。こうした経験を通じて、既存の考えにとらわれず、多角的な視点で物事を考えられる力を養うことができました。

渡航を通じて感じたこと・学んだこと

タマサート大学で行った植物栽培の最適化の研究では、現地の学生たちと共同作業を通じて、実践的な技術とともに研究に対するアプローチや思考方法を学びました。また、「Golden Jubilee Museum of Agriculture」の見学を通じて、現地ならではの実践的な知識を深めることができました。さらに、現地の学生と生活を共にする中で、タイの人々が持つ温かさや優しさに強く感動しました。彼らはとても親切に接してくれ、その思いやりの深さに強く感銘を受けました。このような優しさに触れることで、日常的に人を思いやる姿勢がいかに大切かを学びました。こうした経験を通じて、物事を多角的に考える力を養い、自分の価値観に囚われず柔軟に思考できるようになったと感じています。また、タイの人々の優しさに触れることで、他者への思いやりの重要性を改めて認識し、それを自分の今後の行動にも反映させていきたいと思いました。この経験は、私の研究活動や日常生活において、今後も大いに活かされる貴重な学びとなりました。

今回の経験を今後の学修及びキャリアパスの中でどのように活かしていくか

学修の面では、タマサート大学で学んだ新たな研究アプローチを自分の研究に活かしたいと考えました。タマサート大学では、植物栽培の効率化について主に学ぶことができました。今自分が行っている研究で稲を育てる過程があるので、その際に今回の渡航で学んだことを活かしていきたいと考えています。また生活する中で英語力が足りず悔しい思いをすることも多かったため、大学卒業までに日常会話ができるように、英語を学習していきます。今回の渡航ではタイの人々が持つ温かさや優しさに強く感動しました。タイの人々から学んだ優しさを活かして広い視野を持ち、細部まで配慮できるような人になりたいと思います。これから社会に出ていくうえで今回の渡航で学んだことを活かしたいと考えています。

この事業での渡航を考えている学生へのアドバイス

私は三重大学生なら絶対に参加するべきだと思います。費用面の事情や、今まで海外に挑戦するきっかけがなかった人には特におすすめです。私はこの海外チャレンジを通して日本だけでは学べないことをたくさん学べたという自信があります。現地の文化や人の温かさに触れることで自分の視野が広がりました。だからこそ自由な時間がある大学生のうちに海外生活を経験するべきだなと思いました。この海外チャレンジ事業は三重大学から留学費用の支援を受けることができ、申請書の作成を通して自分のやりたいことを明確に可視化できます。このような海外に挑戦できるチャンスはあまりないと思います。だからこそこの事業を利用して渡航するべきだと思います。

計画全体にかかった費用(自己負担分も含めて、日本円で記載すること。)

渡航費(往復)	50,320円
海外旅行保険	6,000円
学費(教科書代や大学等プログラム授業料等)	
宿泊費	15,000円
光熱費	
食費	21,000円
その他	40,000円
合計	132,320円